

人・農地プランの概要(山形県東田川郡庄内町)

| No. | 人農地プランの区名 | 人・農地プランを作成又は更新(決定)した年月日 | 認農法人 | 法人 | 集落営農組織 | 生産組織任意 | 個人    |         |        | 担い手の確保状況      | 農地流動化のための農地中間管理機構の活用方針  | 将来の農地利用のあり方                   | 今後の地域農業の在り方選択肢   | 今後の地域農業のあり方コメント  |
|-----|-----------|-------------------------|------|----|--------|--------|-------|---------|--------|---------------|---|-------------------------------|--|--|
|     |           |                         |      |    |        |        | 認定農業者 | 認定新規農業者 | その他農業者 |               |   |                               |  |  |
| 1   | JAあまるめ    | H31.3.20                | 3    |    |        |        | 139   | 5       | 26     | 担い手は十分確保されている | ・地域の農地所有者は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける<br>・農業をリタイア・経営転換する人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける<br>・担い手の分散錯圖を解消するため利用権を交換しようとする人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける | 担い手に集積・集約化する<br>担い手の分散錯圖を解消する | 生産品目の明確化<br>複合化<br>6次産業化<br>高付加価値化<br>新規就農の促進<br>その他(生産コストの低減) | ・水稲・大豆を中心としながらも、庄内町の重点振興作物を中心とした園芸特産物の生産に取り組み、経営の安定を図る。<br>・つや姫をはじめとした特別栽培米に取組み、高付加価値化と差別化を目指す生産に取り込む。<br>・直播や疎植に取組み、省力低コスト栽培法の導入など、水田を活用した土地利用型農業で規模の拡大を図る。<br>・畜産経営に携わることで、耕畜連携した農業に取組み地域農業に貢献していく。<br>・継続した農業経営に取り組みするために、後継者・新規就農者の促進と育成に取り組む。<br>・有効な農地の利用集積・面的集積を促進することで、物理的なコスト低減と、労力的コスト低減を図る。<br>・エコファーマーの取得をし、持続的な農業に取り組む事で地域の農地を次世代に繋ぐ役割を果たす。<br>・消費者・実需者との交流を基に相互理解を深め、お互いが必要とする米づくりを実施していく。<br>・消費者との交流を加えることで、生産・加工・販売へ総合的な取組みを進め、そこから生まれる付加価値を農業経営に取り込んでいく。<br>・農業中間管理機構を利用してプラン地区内で農地の集積を図り、農業者の面積を維持していく。 |
| 2   | 廻館        | H31.3.20                | 1    |    |        |        | 23    |         | 3      | 担い手は十分確保されている | ・地域の農地所有者は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける<br>・農業をリタイア・経営転換する人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける<br>・担い手の分散錯圖を解消するため利用権を交換しようとする人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける | 担い手に集積・集約化する<br>担い手の分散錯圖を解消する | 6次産業化<br>高付加価値化<br>その他(コスト低減)                                  | ・集落の農家でカバーしている農地面積が大きく、現状を維持しながら集落内外を問わず離農する農家が出た場合は、中心経営体を主に受託するよう話し合いを行っていく。<br>・地域での特別栽培米の作付面積を拡大し、高付加価値化を目指す。<br>・機械の共同利用を積極的にを行い、生産コストの低減を図る。   |
| 3   | 南野        | H31.3.20                |      |    |        |        | 12    |         | 1      | 担い手は十分確保されている | ・地域の農地所有者は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける<br>・農業をリタイア・経営転換する人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける<br>・担い手の分散錯圖を解消するため利用権を交換しようとする人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける | 担い手に集積・集約化する<br>担い手の分散錯圖を解消する | 新規就農の促進<br>その他(生産コストの低減)                                       | ・機械の共同利用及び、将来的に地域の担い手へ農地を集積し、コスト低減を図る。   |
| 4   | 古関        | H31.3.20                |      |    |        |        | 21    |         | 2      | 担い手は十分確保されている | ・地域の農地所有者は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける<br>・農業をリタイア・経営転換する人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける<br>・担い手の分散錯圖を解消するため利用権を交換しようとする人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける | 担い手に集積・集約化する<br>耕作放棄地を解消する    | 複合化<br>高付加価値化  | ・水稲を中心都市ながらも、庄内町が進行している花卉栽培や野菜苗の生産に取り組み、経営の安定を図る。<br>・つや姫をはじめとして特別栽培米の生産や直播などの省力低コスト栽培法の導入など、水田を活用した土地利用型農業で規模の拡大を図る。  |
| 5   | 沢新田       | H31.3.20                |      |    |        |        | 14    |         |        | 担い手は十分確保されている | ・地域の農地所有者は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける  | 担い手に集積・集約化する<br>担い手の分散錯圖を解消する | 高付加価値化<br>その他(低コスト化)   | ・県の新品種である「つや姫(特別栽培米)」へ積極的に取り組んでいく。<br>・経営規模が大きくなった経営体では、水稲の直播栽培を開始したり、また、トラクター・コンバインの共同利用をするグループも現在あり、今後も低コスト化に取り組んでいく。  |
| 6   | 連枝        | H31.3.20                |      |    |        |        | 10    |         |        | 担い手は十分確保されている | ・農業をリタイア・経営転換する人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける<br>・担い手の分散錯圖を解消するため利用権を交換しようとする人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける                                   | 担い手に集積・集約化する<br>担い手の分散錯圖を解消する | 高付加価値化<br>その他(低コスト化)   | ・農地の集積は概ね進んでいることから、当面は現状維持に努め、低コスト化を目指す。<br>・先進地の技術を学びながら、将来にわたり持続可能な営農に努めていく。   |
| 7   | 赤渕新田      | H31.3.20                |      |    |        |        | 5     |         | 2      | 担い手は十分確保されている | ・農業をリタイア・経営転換する人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける<br>・担い手の分散錯圖を解消するため利用権を交換しようとする人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける                                   | 担い手に集積・集約化する<br>担い手の分散錯圖を解消する | 高付加価値化<br>その他(生産コストの低減)  | ・中心経営体に農地集積を進めるとともに、生産コストの低減を図る。<br>・水稲、大豆、野菜、菌茸、花卉など収量のとれる農業を目指すため、先進地の技術を学びながら将来にわたり持続可能な営農に努めていく。   |
| 8   | 小出新田      | H31.3.20                |      |    |        |        | 23    |         | 1      | 担い手は十分確保されている | ・地域の農地所有者は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける<br>・農業をリタイア・経営転換する人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける<br>・担い手の分散錯圖を解消するため利用権を交換しようとする人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける | 担い手に集積・集約化する<br>担い手の分散錯圖を解消する | 新規就農の促進<br>その他(生産コストの低減)                                       | ・水稲の育苗作業を軽減するため、直播栽培を取り入れながら効率的な営農に取り組んでいく。  |

| No. | 人農地プランの区名 | 人・農地プランを作成又は更新(決定)した年月日 | 認農法人 | 法人 | 集落営農組織 | 生産組織任意 | 個人    |         |        | 担い手の確保状況      | 農地流動化のための農地中間管理機構の活用方針  | 将来の農地利用のあり方                   | 今後の地域農業の在り方選択肢                | 今後の地域農業のあり方コメント  |
|-----|-----------|-------------------------|------|----|--------|--------|-------|---------|--------|---------------|---|-------------------------------|-------------------------------|--|
|     |           |                         |      |    |        |        | 認定農業者 | 認定新規農業者 | その他農業者 |               |   |                               |                               |  |
| 9   | 堤新田       | H31.3.20                |      |    |        |        | 11    |         | 4      | 担い手は十分確保されている | ・地域の農地所有者は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける<br>・農業をリタイア・経営転換する人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける<br>・担い手の分散錯圖を解消するため利用権を交換しようとする人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける | 担い手に集積・集約化する<br>担い手の分散錯圖を解消する | その他(生産コストの低減)                 | ・集落内11戸の農家の状況として、1戸当たり平均3ha程度であり、皆が平均的な面積を営農している。<br>・いずれは地域の中心となり経営体に集積することにはなるが、現状維持で営農を続けるとともに、中心となる経営体について話し合いを行っていく。<br>・コスト低減のために、機械の共同利用に積極的に取り組んでいく。 |
| 10  | 前田野目      | H31.3.20                |      |    |        |        | 11    |         |        | 担い手は十分確保されている | ・地域の農地所有者は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける<br>・農業をリタイア・経営転換する人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける<br>・担い手の分散錯圖を解消するため利用権を交換しようとする人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける | 担い手に集積・集約化する<br>担い手の分散錯圖を解消する | 高付加価値化<br>その他(生産コストの低減)       | ・特別栽培米への取り組みを積極的に行っており、今後継続していく。<br>・大豆の播種・ばい土作業機械の共同利用により低コスト化を図っていく。   |
| 11  | 福島        | H31.3.20                |      |    |        |        | 7     |         | 1      | 担い手は十分確保されている | ・農業をリタイア・経営転換する人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける   | 担い手に集積・集約化する<br>担い手の分散錯圖を解消する | その他(生産コストの低減)                 | ・中心経営体に農地集積を進めるとともに機械の共同利用を行い、生産コストの低減を図る。<br>・水稻・大豆ともに収量がとれる農業を目指すため、先進地の技術を学びながら将来にわたり継続可能な営農に努めていく。   |
| 12  | 大真木       | H31.3.20                |      |    |        |        | 10    |         |        | 担い手は十分確保されている | ・農業をリタイア・経営転換する人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける   | 担い手に集積・集約化する<br>担い手の分散錯圖を解消する | 高付加価値化<br>その他(生産コストの低減)       | ・「つや姫」などの特別栽培米の生産拡大をしていく。<br>・収量の安定と費用の圧縮により、低コスト化を図る。   |
| 13  | 返吉        | H31.3.20                |      |    |        |        | 8     |         | 1      | 担い手は十分確保されている | ・農業をリタイア・経営転換する人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける<br>・担い手の分散錯圖を解消するため利用権を交換しようとする人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける                                   | 担い手に集積・集約化する<br>担い手の分散錯圖を解消する | 6次産業化<br>高付加価値化<br>その他(低コスト化) | ・米加工品の製造と販売の拡大を図る。(一戸)<br>・つや姫などの特別栽培の生産拡大とコスト低減を目指す。<br>・収量の安定と費用の圧縮により、低コスト化を図る。   |
| 14  | 京島        | H31.3.20                |      |    |        |        | 6     |         | 1      | 担い手はいるが十分ではない | ・地域の農地所有者は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける<br>・農業をリタイア・経営転換する人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける<br>・担い手の分散錯圖を解消するため利用権を交換しようとする人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける | 担い手に集積・集約化する<br>担い手の分散錯圖を解消する | その他(生産コストの低減)                 | ・中心経営体に農地集積を進めるとともに、生産コストの低減を図る。   |
| 15  | 新田目       | H31.3.20                |      |    |        |        | 5     |         | 1      | 担い手は十分確保されている | ・農業をリタイア・経営転換する人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける   | 担い手に集積・集約化する<br>担い手の分散錯圖を解消する | 高付加価値化<br>新規就農の促進             | ・土地利用型の経営が中心であり、つや姫などの特裁米生産を安定させながら、コストの低減を図っていく。  |
| 16  | 本小野方      | H31.3.20                |      |    |        |        | 8     |         |        | 担い手は十分確保されている | ・農業をリタイア・経営転換する人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける<br>・担い手の分散錯圖を解消するため利用権を交換しようとする人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける                                   | 担い手に集積・集約化する<br>担い手の分散錯圖を解消する | その他(生産コストの低減)                 | ・地域農地が水稻種子の種子圃場であり、春の播種作業、秋の刈取作業は全員が共同作業で行ってきており、今後も継続する事で生産コストの低減に努める。<br>・高齢化に伴い、農地の異動・集積は予想されるが、後継者不足の問題があり、当面は中心経営体への集積になるが、生産組合内で話し合いを行っていく。            |
| 17  | 吉方        | H31.3.20                |      |    |        |        | 9     |         | 1      | 担い手は十分確保されている | ・地域の農地所有者は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける<br>・農業をリタイア・経営転換する人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける<br>・担い手の分散錯圖を解消するため利用権を交換しようとする人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける | 担い手に集積・集約化する<br>担い手の分散錯圖を解消する | 新規就農の促進<br>その他(生産コストの低減)      | ・大豆の播種について、集落の転作組合で共同利用しており、今後も低コストのために継続していく。<br>・特別栽培米への取り組みを継続していく。   |
| 18  | 下境(境興屋)   | H31.3.20                | 1    |    |        |        | 1     |         | 1      | 担い手は十分確保されている | ・地域の農地所有者は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける<br>・農業をリタイア・経営転換する人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける   | 担い手に集積・集約化する<br>担い手の分散錯圖を解消する | 高付加価値化<br>その他(生産コストの低減)       | ・中心経営体に農地集積を進めるとともに機械の共同利用を積極的に行い、生産コストの低減を図る。   |
| 19  | 西袋        | H31.3.20                | 1    |    |        |        | 6     |         |        | 担い手は十分確保されている | ・農業をリタイア・経営転換する人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける   | 担い手に集積・集約化する<br>担い手の分散錯圖を解消する | 複合化<br>高付加価値化                 | ・収量の安定と費用の圧縮により、低コスト化を図る。<br>・共同機械利用等によってコスト低減に努め、所得確保に努めていく。<br>・生産組合内でいかに農業所得を確保しながら効率的な農作業が行えるか、話し合いを行っていく。   |
| 20  | 南興屋       | H31.3.20                |      |    |        |        | 2     |         |        | 担い手は十分確保されている | ・地域の農地所有者は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける<br>・農業をリタイア・経営転換する人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける<br>・担い手の分散錯圖を解消するため利用権を交換しようとする人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける | 担い手の分散錯圖を解消する                 | 高付加価値化<br>その他(生産コストの低減)       | ・集落内の2農家が地域の全農地を集積しており、現状維持に努めていく。<br>・特別栽培米(つや姫含む)の作付面積を拡大し、付加価値のある栽培に取り組んでいく。<br>・転作物についても共同利用による低コスト化に努めていく。  |

| No. | 人農地プランの区名 | 人・農地プランを作成又は更新(決定)した年月日 | 認農法人 | 法人 | 集落営農組織 | 生産組織任意 | 個人    |         |        | 担い手の確保状況      | 農地流動化のための農地中間管理機構の活用方針  | 将来の農地利用のあり方                   | 今後の地域農業の在り方選択肢                     | 今後の地域農業のあり方コメント  |
|-----|-----------|-------------------------|------|----|--------|--------|-------|---------|--------|---------------|---|-------------------------------|------------------------------------|--|
|     |           |                         |      |    |        |        | 認定農業者 | 認定新規農業者 | その他農業者 |               |   |                               |                                    |  |
| 21  | 中野        | H31.3.20                |      |    |        |        | 5     |         | 1      | 担い手は十分確保されている | ・農業をリタイア・経営転換する人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける   | 担い手に集積・集約化する<br>担い手の分散錯圖を解消する | 高付加価値化<br>新規就農の促進                  | ・地域の中心となる経営体である2農家に農地のほぼ全てが集積されているため、現状維持に努めたい。<br>・特別栽培米の作付をこれからも継続していく。  |
| 22  | 南野新田      | H31.3.20                |      |    |        |        | 5     |         | 2      | 担い手は十分確保されている | ・農業をリタイア・経営転換する人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける   | 担い手に集積・集約化する<br>担い手の分散錯圖を解消する | その他(生産コストの低減)                      | ・中心経営体に農地集積を進めるとともに、機械の共同利用を積極的に行い、生産コストの低減を図る。<br>・収量の増加を目指すため、先進地の技術を学びながら、将来にわたり持続可能な営農に努める。  |
| 23  | 主殿新田      | H31.3.20                |      |    |        |        | 4     |         | 1      | 担い手は十分確保されている | ・農業をリタイア・経営転換する人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける   | 担い手に集積・集約化する<br>担い手の分散錯圖を解消する | 高付加価値化                             | ・集落内で2名の特別栽培米の作付に取り組んでおり、今後も付加価値のある栽培を続けていく。   |
| 24  | 大野        | H31.3.20                | 1    |    |        |        | 6     |         |        | 担い手は十分確保されている | ・地域の農地所有者は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける<br>・農業をリタイア・経営転換する人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける<br>・担い手の分散錯圖を解消するため利用権を交換しようとする人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける | 担い手に集積・集約化する<br>担い手の分散錯圖を解消する | 複合化<br>高付加価値化<br>新規就農の促進           | ・集落の周辺に園芸施設を団地化し、花き栽培を中心に複合化を図ってきた。<br>・つや姫等特別栽培米への取り組みを拡大し、有利販売による所得の拡大を目指す。<br>・将来、就農できると見込まれる他産業業者がいるが農業経営への転換も考えられるので、集落としても協力していきたい。                                  |
| 25  | 田谷        | H31.3.20                |      |    |        | 1      | 8     |         |        | 担い手は十分確保されている | ・農業をリタイア・経営転換する人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける   | 担い手に集積・集約化する<br>担い手の分散錯圖を解消する | 6次産業化<br>新規就農の促進<br>その他(生産コストの低減)  | ・全員が認定農業者であり、集落内農地については集積済みであることから、現状維持に努める。<br>・大豆播種、培土作業の共同機械利用を今後も続け、コスト低減に努める。<br>・農業後継者の候補者もいるため、地域としても就農を応援していく。   |
| 26  | 西小野方      | H31.3.20                | 2    |    |        |        | 6     |         | 1      | 担い手は十分確保されている | ・地域の農地所有者は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける<br>・農業をリタイア・経営転換する人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける<br>・担い手の分散錯圖を解消するため利用権を交換しようとする人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける | 担い手に集積・集約化する<br>担い手の分散錯圖を解消する | 高付加価値化<br>その他(生産コストの低減)            | ・生産組合内でいかに農業所得を確保しながら効率的な農作業が行えるか話し合いを行っていく。<br>・特別栽培米を作付している農家は今後も付加価値のある農産物の生産を続けていく。  |
| 27  | 近江新田      | H31.3.20                |      |    |        |        | 3     |         |        | 担い手はいるが十分ではない | ・農業をリタイア・経営転換する人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける   | 担い手に集積・集約化する<br>担い手の分散錯圖を解消する | その他(生産コストの低減)                      | ・集落内の農家は1人で、全農地を耕作している状況であることから、現状維持で営農に努めながら、他集落からの受託にも対応できるよう作業の効率性も研究していく。  |
| 28  | 吉岡        | H31.3.20                | 2    |    |        |        | 13    |         |        | 担い手は十分確保されている | ・地域の農地所有者は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける<br>・農業をリタイア・経営転換する人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける<br>・担い手の分散錯圖を解消するため利用権を交換しようとする人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける | 担い手に集積・集約化する<br>担い手の分散錯圖を解消する | 高付加価値化<br>その他(低コスト化)               | ・共同機械利用などによってコスト低減に努め、所得確保に努めていく。  |
| 29  | 生三        | H31.3.20                | 1    |    |        |        | 3     |         | 1      | 担い手は十分確保されている | ・農業をリタイア・経営転換する人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける<br>・担い手の分散錯圖を解消するため利用権を交換しようとする人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける                                   | 担い手に集積・集約化する<br>担い手の分散錯圖を解消する | 複合化                                | ・土地利用型農業が中心であるが、今後、施設園芸への取り組みと良質米生産により経営の安定を図る。  |
| 30  | 島田        | H31.3.20                | 1    |    |        |        | 6     |         |        | 担い手は十分確保されている | ・地域の農地所有者は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける<br>・農業をリタイア・経営転換する人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける<br>・担い手の分散錯圖を解消するため利用権を交換しようとする人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける | 担い手に集積・集約化する<br>担い手の分散錯圖を解消する | 複合化<br>6次産業化<br>高付加価値化             | ・集落内農地のうち水稲・大豆については、全面積特別栽培で作付しており、今後も継続していく。<br>・新たに花卉に取り組む農家もあり、複合経営による所得確保に努めていく。   |
| 31  | 払田        | H31.3.20                | 1    |    |        |        | 10    |         | 1      | 担い手は十分確保されている | ・農業をリタイア・経営転換する人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける   | 担い手に集積・集約化する<br>担い手の分散錯圖を解消する | 高付加価値化<br>新規就農の促進<br>その他(生産コストの低減) | ・集落をこえて中心経営体に農地集積を進めるとともに機械の共同利用を積極的に行い、生産コストの低減を図る。<br>・水稲、大豆ともに収量がとれる農業を目指すため、先進地の技術を学びながら将来にわたり持続可能な営農に努めていく。<br>・農業後継者を一人でも多く育てるため、技術継承だけでなく、生産組合で交流の機会を設け、情報交換を行っていく。 |

| No. | 人農地プランの区名 | 人・農地プランを作成又は更新(決定)した年月日 | 認農法人 | 法人 | 集落営農組織 | 生産組織任意 | 個人    |         |        | 担い手の確保状況 | 農地流動化のための農地中間管理機構の活用方針 | 将来の農地利用のあり方   | 今後の地域農業の在り方選択肢                | 今後の地域農業のあり方コメント   |  |
|-----|-----------|-------------------------|------|----|--------|--------|-------|---------|--------|----------|------------------------|---|-------------------------------|---|--|
|     |           |                         |      |    |        |        | 認定農業者 | 認定新規農業者 | その他農業者 |          |                        |   |                               |   |  |
| 32  | 茗荷瀬       | H31.3.20                |      |    |        |        |       |         | 7      |          | 担い手は十分確保されている          | ・地域の農地所有者は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける<br>・農業をリタイア・経営転換する人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける<br>・担い手の分散錯圖を解消するため利用権を交換しようとする人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける | 担い手に集積・集約化する<br>担い手の分散錯圖を解消する | 高付加価値化<br>その他(生産コストの低減)   | ・特別栽培米の作付面積を拡大していく。<br>・現在、コンバインの共同利用を行っているグループが集落内に2つあるので、今後もコスト低減を図るため、このような共同機械利用を進めていく。  |
| 33  | 落合        | H31.3.20                | 1    |    |        |        |       |         | 7      |          | 担い手は十分確保されている          | ・地域の農地所有者は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける  | 担い手に集積・集約化する<br>担い手の分散錯圖を解消する | 高付加価値化<br>その他(生産コストの低減)   | ・中心経営体に農地集積を進めるとともに、現有の機械の共同利用体制をより進める。<br>・花卉に取り組む農家が多いため、より一層の花弁栽培の拡大に取り組む。<br>・無人ヘリ防除に取り組む、コストの低減、防除効果の徹底に取り組む。<br>・特別栽培(水稲)の拡大に取り組む、地域の環境向上に取り組む。  |
| 34  | 家根合       | H31.3.20                | 1    |    |        |        |       |         | 25     |          | 担い手は十分確保されている          | ・農業をリタイア・経営転換する人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける   | 担い手に集積・集約化する<br>その他(生産コストの低減) | ・中心経営体に農地集積を進めるとともに、機械の共同利用を積極的に行い、生産コストの低減を図る。<br>・水稲、大豆ともに収量がとれる農業を目指すため、先進地の技術を学びながら将来にわたり持続可能な営農に努めていく。 |  |
| 35  | 高田麦       | H31.3.20                |      | 1  |        |        |       |         | 9      |          | 担い手は十分確保されている          | ・地域の農地所有者は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける<br>・農業をリタイア・経営転換する人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける<br>・担い手の分散錯圖を解消するため利用権を交換しようとする人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける | 担い手に集積・集約化する<br>担い手の分散錯圖を解消する | その他(生産コストの低減)   | ・中心経営体に農地集積を進めるとともに、機械の共同利用を積極的に行い、生産コストの低減を図る。  |
| 36  | 宮曾根       | H31.3.20                |      |    |        |        |       |         | 10     |          | 担い手は十分確保されている          | ・農業をリタイア・経営転換する人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける   | 担い手に集積・集約化する<br>担い手の分散錯圖を解消する | 新規就農の促進<br>その他(低コスト化)   | ・計画作成当初は全農業者を中心経営体に位置付けスタートするが、今後地域での話し合いを進め、将来にわたり営農が継続できるシステムを気づいていく。  |
| 37  | 杉浦        | H31.3.20                |      |    |        |        |       | 1       | 6      |          | 担い手は十分確保されている          | ・地域の農地所有者は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける<br>・農業をリタイア・経営転換する人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける   | 担い手に集積・集約化する<br>担い手の分散錯圖を解消する | 複合化<br>6次産業化<br>高付加価値化<br>新規就農の促進<br>その他(生産コストの低減)  | ・特別栽培米への取組みを継続することで環境に優しい農業に努めると共に、付加価値のある農産物の生産を行い、所得の確保に努める。<br>・地域での話し合いによって共同作業が行える部分は共同の機械利用を進め、コストの低減を図っていく。   |
| 38  | 久田        | H31.3.20                | 1    |    |        |        |       |         | 3      |          | 担い手は十分確保されている          | ・農業をリタイア・経営転換する人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける   | 担い手に集積・集約化する<br>担い手の分散錯圖を解消する | 6次産業化<br>高付加価値化<br>新規就農の促進<br>その他(生産コストの低減)   | ・中心経営体に農地集積を進め、コストダウンを図っていく。<br>・水稲、大豆ともに収量がとれる農業を目指し、先進地の技術を学びながら将来にわたり持続可能な営農に努めていく。   |
| 39  | 深川        | H31.3.20                |      |    |        |        |       |         | 5      |          | 担い手は十分確保されている          | ・農業をリタイア・経営転換する人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける   | 担い手に集積・集約化する<br>担い手の分散錯圖を解消する | 複合化<br>高付加価値化<br>新規就農の促進<br>その他(生産コストの低減)   | ・中心経営体に農地集積を進めるとともに、生産コストの低減を図る。<br>・花卉、野菜栽培技術等について地域内での継承を図り、後継者(新規就農者)も育成していく。   |
| 40  | 西野        | H31.3.20                |      |    |        |        |       |         | 4      |          | 担い手がいない                | ・地域の農地所有者は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける<br>・農業をリタイア・経営転換する人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける<br>・担い手の分散錯圖を解消するため利用権を交換しようとする人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける | 担い手に集積・集約化する                  | 高付加価値化<br>新規就農の促進   | ・特別栽培米について、今後も継続して取り組んでいく。   |
| 41  | 立谷沢・清川地区  | H31.3.20                | 1    |    |        |        |       |         | 48     |          | 担い手は十分確保されている          | ・地域の農地所有者は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける<br>・農業をリタイア・経営転換する人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける<br>・担い手の分散錯圖を解消するため利用権を交換しようとする人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける | 担い手に集積・集約化する<br>担い手の分散錯圖を解消する | 高付加価値化<br>新規就農の促進<br>その他(生産コストの低減)<br>その他(低コスト化)<br>その他(収量の増加)  | 平成の名水100銭「立谷沢川」流域に広がる地域であり、おいしい米づくりに今後も取り組んでいく。<br>水稲、そばの単収の向上をめざし、将来にわたり持続可能な営農を確立できるよう努める。<br>機械や作業の共同化を積極的に行い、生産コストの低減を図る。<br>特別栽培米への取組みを今後も継続していく。<br>・中心となる経営体へ農地集積を進めることによって、中心経営体個々の経営規模を拡大する事で低コスト化を図っていく。<br>新規就農者を育成していき、将来地域の農業を託したい。 |

| No. | 人農地プランの区名 | 人・農地プランを作成又は更新(決定)した年月日 | 認農法人 | 法人 | 集落営農組織 | 生産組織任意 | 個人    |         |        | 担い手の確保状況      | 農地流動化のための農地中間管理機構の活用方針  | 将来の農地利用のあり方                   | 今後の地域農業の在り方選択肢  | 今後の地域農業のあり方コメント  |
|-----|-----------|-------------------------|------|----|--------|--------|-------|---------|--------|---------------|---|-------------------------------|---|--|
|     |           |                         |      |    |        |        | 認定農業者 | 認定新規農業者 | その他農業者 |               |   |                               |   |  |
| 42  | 千本杉       | H31.3.20                |      | 1  |        |        | 6     |         |        | 担い手は十分確保されている | ・地域の農地所有者は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける<br>・農業をリタイア・経営転換する人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける<br>・担い手の分散錯圖を解消するため利用権を交換しようとする人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける | 担い手に集積・集約化する                  | 高付加価値化<br>その他(生産コストの低減)                                 | ・中心経営体に農地集積を進めるとともに、機械の共同利用を行い、生産コストの低減を図る。<br>・水稲、大豆ともに収量がとれる農業を目指すため、先進地の技術を学びながら将来にわたり持続可能な営農に努めていく。<br>・環境にやさしい農業を目指し、特別栽培米等の取り組みを行い、地域循環型農業を目指す。  |
| 43  | 桑田        | H31.3.20                |      | 1  |        |        | 8     | 1       | 1      | 担い手は十分確保されている | ・地域の農地所有者は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける<br>・農業をリタイア・経営転換する人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける<br>・担い手の分散錯圖を解消するため利用権を交換しようとする人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける | 担い手に集積・集約化する<br>担い手の分散錯圖を解消する | 新規就農の促進、<br>その他(生産コストの低減)                               | ・桑田営農組合(集落営農組織)、みのり会といった組織による機械の共同利用を今後も続け、生産コストの低減に努める。<br>・桑田営農組合の法人化に向けた話し合いを進めている。<br>・後継者を育成するため、花卉の栽培技術など地域ぐるみの技術継承をしていく。  |
| 44  | 添津        | H31.3.20                |      |    |        |        | 10    |         |        | 担い手がいない       | ・地域の農地所有者は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける<br>・農業をリタイア・経営転換する人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける<br>・担い手の分散錯圖を解消するため利用権を交換しようとする人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける | 担い手に集積・集約化する<br>担い手の分散錯圖を解消する | 高付加価値化<br>その他(生産コストの低減)                                 | ・特別栽培米への取り組みを継続し、付加価値のある作物の生産に努める。<br>・大豆の播種、防除の共同機械利用による低コスト化を今後も継続していく。  |
| 45  | 三ヶ沢       | H31.3.20                |      | 2  |        |        | 11    |         |        | 担い手は十分確保されている | ・農業をリタイア・経営転換する人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける<br>・担い手の分散錯圖を解消するため利用権を交換しようとする人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける                                   | 担い手に集積・集約化する<br>担い手の分散錯圖を解消する | 高付加価値化<br>その他(集落営農の法人化)<br>その他(生産コストの低減)                | ・中心経営体に農地集積を進めるとともに、機械の共同利用を積極的に行い、生産コストの低減を図る。<br>・水稲、大豆ともに収量がとれる農業を目指すため、先進地の技術を学びながら将来にわたり持続可能な営農に努めていく。<br>・集落営農組織(三ヶ沢営農組合)が法人化し、農地集積を受けて規模拡大するとともに、経営の安定化を目指す。  |
| 46  | 狩川        | H31.3.20                |      |    |        |        | 84    |         |        | 担い手は十分確保されている | ・地域の農地所有者は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける<br>・農業をリタイア・経営転換する人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける<br>・担い手の分散錯圖を解消するため利用権を交換しようとする人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける | 担い手に集積・集約化する<br>担い手の分散錯圖を解消する | 複合化<br>高付加価値化<br>新規就農の促進<br>その他(生産コストの低減)<br>その他(低コスト化) | ・中心経営体に農地集積を進めるとともに機械の共同利用を積極的に行い、生産コストの低減を図る。<br>・水稲、大豆、そばの収量アップを目指し、先進技術の習得と持続可能な営農に努めていく。<br>・新規就農者等の後継者の育成にも積極的に取り組んでいく。<br>・特別栽培米の作付を今後も継続し、付加価値のある農産物の生産・販売を行っていく。<br>・将来的には中心経営体等へ農地集積を進めるなど、生産組合内での話し合いを行っていく。 |